

水道使用の開始・中止などの手続きは インターネットからも受け付けています

転入・転居・転出をされる方は、水道局へ水道使用の開始・中止のお申込みが必要です。お申込みは姫路市水道料金センターへお電話でご連絡いただくほか、インターネットからのお申込みも可能です。

詳しくは、水道局のホームページをご覧ください。

姫路市 水道 届出

検索



水道料金はモバイル決済で お支払いができます！

水道料金はモバイル決済によるお支払いが可能です。以下のウォレットサービス提供会社（4社）のうち、いずれか1社のアプリをダウンロードしてお支払いいただけます。



詳しくは、水道局のホームページをご確認ください。



利用可能アプリ

LINE Pay

PayPay

au PAY

PayB



姫路市
水道局

ひめじ水道だより



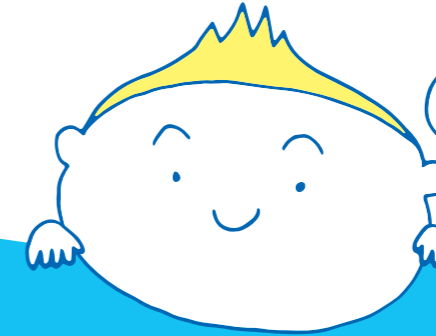
姫路市水道局
しろまるひめ

おいしい水を いつも いつまでも すべての人へ

2022年

令和4年4月

上下水道局 が誕生！



水道局と下水道局が
ひとつになります

3
月号



手を洗いましょう



水道モニター 活動報告

水道モニター制度は、水道モニターから提供されたご意見・ご要望等の結果を水道事業に反映させることを通じて、市民の皆さまとともに円滑な水道事業の運営を図っていくための制度です。

令和3年度「姫路市水道モニター」施設見学会 第1回・第2回

昨年度は緊急事態宣言の発令に伴い、施設見学会を中止することもありましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているタイミングで、感染対策を徹底しながら2回開催することができました。

第1回見学会 (10月20日開催) 甲山浄水場、保城浄水場

甲山浄水場では、水道水ができるまでの流れを学びました。保城浄水場では、配水コントロール室で配水量や水圧を調整する設備を、水質検査室で検査機器等の説明を受けました。



水質検査室を見学

第2回見学会 (11月19日開催) 配水管布設替工事、 甲山低区第1・第2配水池

配水管布設替工事の現場では交換のため取り出した古い管や、実際に新しい配水管が取り付けられる様子を見学。甲山低区第1配水池では工事の概要や施工方法について説明を受け、防水塗装中の内部を見ることができ、昨年度完成した第2配水池では普段上がることのできない屋上から、豊富・船津地区を一望しました。



配水管工事を見学

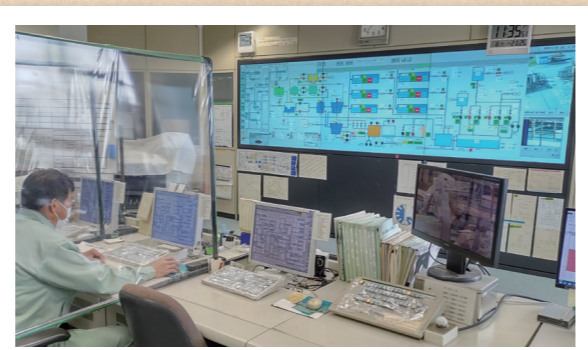
知っていますか？姫路の水道の歴史

昭和から平成へ 現在の給水体制の基盤と なった第5回拡張事業



昭和45年当時の姫路市総合基本計画では、20年後の市の人口を65万人と予測する中、厚生省（現・厚生労働省）は昭和60年度の水道普及率98.8%を目標として、全国的な拡充整備を指導していました。それを受け第5回拡張事業を計画し、甲山浄水場の能力アップや、県・西播磨水道企業団からの受水体制を整えるなどの事業を実施しました。さらに効率的な水運用を図るために配水コントロールシステムの導入や水質管理の

強化なども行いました。その後水需要の減少などにより計画の見直しが行われましたが、昭和から平成にかけての本事業は現在の給水体制の基盤となり、今日の水道事業を支えています。



配水コントロールシステム

⚠ 悪質業者にご注意ください ⚠



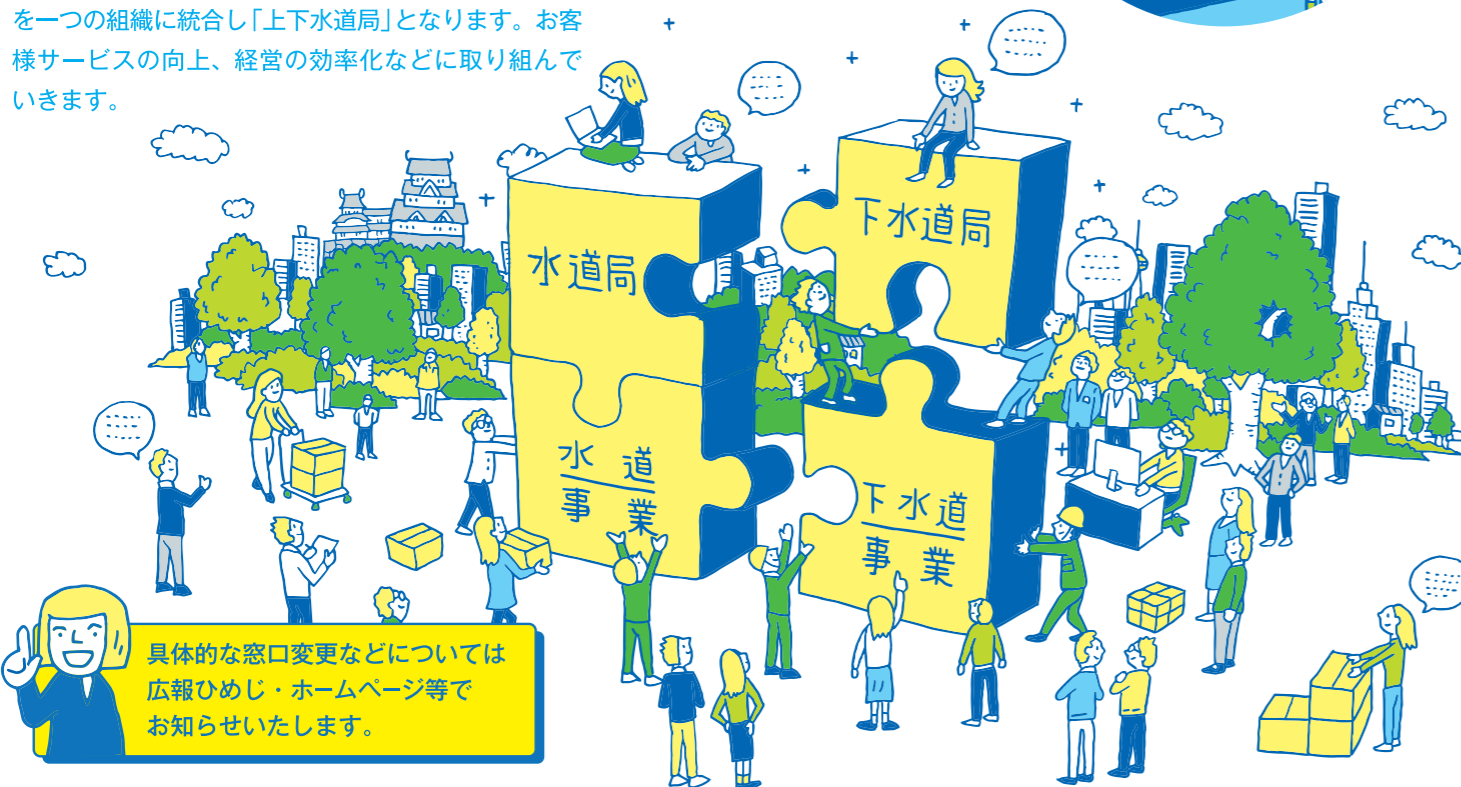
水回り修理に関する高額請求などの被害・トラブルが発生しています。修理費用は、作業内容や時間などにより大きく変わりますので、本当に必要な修理なのかを考え、複数の業者に見積を依頼するなど慎重に対応するようにしましょう。

- 広告などに表示されている料金は鵜呑みにせず、細かい所も確認する。
- 冷静に料金や作業内容を確認し、納得できない場合はきっぱりと断る。

令和4年4月1日から 水道局は下水道局と組織統合し、

上下水道局に 変わります。

持続可能な事業運営を図るため、水道局と下水道局を一つの組織に統合し「上下水道局」となります。お客様サービスの向上、経営の効率化などに取り組んでいきます。



具体的な窓口変更などについては
広報ひめじ・ホームページ等で
お知らせいたします。

組織統合によるメリット

1 お客様サービスの向上

窓口のワンストップ化

- 給排水工事の申請、検査
- 水道料金、下水道使用料等の相談 など



2 効率的な事業運営

経営の効率化

- 総務、管理部門の集約（スリム化）
- 技術部門の相互応援体制の構築 など

危機管理体制の向上

- 災害時の体制強化 など



令和4年3月甲山低区配水池の 耐震化事業が完了します

豊富町にある甲山低区配水池は、姫路市の人口の約1/3へ配水する基幹配水池として、皆さまの生活に欠かせない水道水をお届けしている施設です。しかし、建設から45年以上が経過し、老朽化や耐震性の不備が課題となっていました。そこで、この配水池をより災害に強い施設にするため平成28年度から令和2年度にかけて第2配水池を新設し、現在運用しています。さらに令和3年度にはこれまで使用していた第1配水池を休止し、耐震補強や老朽化したコンクリートの修復工事を行いました。本事業完了後は、第1配水池と緊急遮断弁を備えた第2配水池の両方で運用することで、災害に強く安定した「強靱」な水道として、皆さまの暮らしを支えていきます。



令和2年度に竣工した第2配水池



第1配水池の修復工事の様子（令和3年10月）

水管橋の緊急点検を行いました

令和3年10月3日和歌山市で水管橋が崩落する事故を受け、姫路市では市内にある水管橋のうち市民生活に影響の大きい105橋について緊急点検を実施しました。点検には通常の目視点検のほか、ドローンを使用した細かいチェックを行いました。今回の点検で、大きな破損やひび割れのある水管橋はありませんでしたが、これからも市民の皆さまに安定した給水が行えるよう継続して水道施設の保全に努めていきます。



実際の撮影画像（水管橋の上部から撮影）



目で確認
できないところも
ドローンで
細かく点検

